

議会だより

題字は日出小6年 堀 恭輔 さんです



No. 100

平成27年4月30日
発行 大分県日出町議会
電話 0977-73-3135



目次

議会だより創刊100号 記念号

大神中学校卒業式

3月定例会

- 27年度当初予算 2
 予算常任委員会
- 委員会報告 6
 総務産業常任委員会・福祉文教常任委員会
- 9人が町政全般を質す 8
 一般質問
- 100号記念特集 17
- 町民の声 20



議員が編集した手づくり議会だよりです

議会などの審議の記録は町のホームページでもご覧いただけます。

平成27年 3月定例会

3月定例会は、3月2日から3月20日までの会期で開かれました。

初日の本会議では、町長から、施政方針を含めた議案に対する提案理由の説明が行われ、27年度一般会計をはじめとする予算関連議案と条例改正など議案39件、その他、陳情や要望など5件を19日間にわたり慎重に審議しました。

審査の結果、日出町立図書館の設置及び管理に関する条例の議案は、付託された福祉文教委員会では可決でしたが本会議では可否同数となり、議長裁決により否決となりました。また、関連する複合商業施設の2階部分を公の施設として設置・管理する条例議案は、13対1で可決。陳情1件は継続審議、その他の議案は全会一致で可決です。また、大神真那井地区尾首山の太陽光発電反対に係る要望書に対し決議を行いました。

過去最大規模 102億1000万円 (一般会計予算)

前年度比6億1200万円増(6.4%増)

暘谷駅の整備工事や中央体育館耐震補強事業、藤原保育園改築工事などの大型事業や障害者介護給付費や子ども・子育て支援新制度による扶助費、図書館リース料やコンビニ収納関連経費などの物件費の増加が増額の主な要因です。

諸支出金・予備費等
3,353万円(0.3%)

公債費【借入金27年度分返済分】
9億2,094万円(9.0%)

平成26年度末の公債費残高は
見込み額で101億9,406万円

議会費 1億5,673万円(1.6%)

議員報酬 6,344万円
その他人件費 7,802万円
物件費 1,205万円

教育費 9億4,420万円(9.2%)

小学校費 9,599万円
中学校費 6,579万円
幼稚園費 1億1,732万円
中央公民館費 2,783万円
図書館費 8,995万円
文化財保護費 3,045万円
給食センター費 1億 446万円
教育委員会、事務局費 1億1,370万円
(それぞれ人件費含む)

総務費 11億5,644万円(12.2%)

人件費 7億9,279万円
普通建築費 5,466万円
物件費 2億9,009万円
補助費等 1億 359万円

消防費 4億2,059万円(4.1%)

杵築速見消防組合負担金 3億3,538万円
消防団員報酬 836万円
防災行政無線整備工事費 1,937万円
防災水槽・消火栓設置費 230万円
人件費 2,464万円

一般会計当初予算 歳出

目的別内訳と主な項目
()は構成比

民生費 35億3,967万円(34.7%)

児童手当 4億9,319万円
教育・保育給付事業(就学補助) 7億9,387万円
子ども医療費助成 5,834万円
障害者支援など 7億 248万円
保育所整備事業補助金 1億2,422万円
国民健康保険へ繰出し 1億4,920万円
介護保険へ繰出し 3億4,458万円
後期高齢者医療繰出し 8,019万円
後期高齢者医療広域連合負担金 3億1,980万円
物件費・貸付金等 1億4,576万円
人件費 2億3,735万円

土木費 17億971万円(16.7%)

道路新設改良費 2億8,099万円
道路維持費 4,165万円
道路舗装改良費 1,200万円
暘谷駅整備事業・駅周辺整備 8億1,770万円
公園管理委託料 1,450万円
公共下水道繰出し 2億8,905万円
町営住宅管理 2,821万円
人件費 1億2,663万円

商工・農林水産業費

5億9,452万円(5.8%)

商工会、観光協会助成金 1,520万円
かれい祭り行事負担金 750万円
シルバー人材センター補助金 537万円
農業振興費 6,716万円
大分県畜産公社新施設整備建設費補助金 1,378万円
水産業振興費 3,323万円
林業振興費 1,913万円
農業・漁業集落排水事業へ繰出し 5,033万円
人件費 1億9,400万円

衛生費 6億4,898万円(6.4%)

予防接種・がん検診等 1億 666万円
母子保健費 1億 291万円
ごみ収集運搬手数料 8,535万円
合併処理浄化槽設置補助 536万円
秋草葬祭場・藤ヶ谷清掃センター等負担金 8,880万円
環境浄化センター負担金 9,194万円
人件費 1億 598万円

前年度と比べて、町税は3.3%の大幅な減少、地方交付税は0.9%微増です。また国庫支出金は5.9%、県支出金は25.4%の大幅な増加となりました。地方債は大型建設事業などにより18.5%の増加、基金繰入金も20.2%の伸びとなっています。

町債(借入金) 11億5,260万円(11.3%)

土木債 5億7,460万円
 教育債(中央体育館耐震補強事業債など) 1億1,210万円
 臨時財政対策債 3億5,000万円

その他(自主財源) 3億8,953万円(3.8%)

町民税 26億4,159万円(25.9%)

個人町民税 10億3,900万円
 法人町民税 2億1,950万円
 固定資産税 10億8,750万円
 軽自動車税 7,100万円
 たばこ税 2億円
 入湯税 2,400万円

基金繰入金 7億5,663万円(7.4%)

財政調整基金繰入金 5億2,905万円
 減債基金繰入金 1億5,000万円

**一般会計当初予算
歳入**

目的別内訳と主な項目
()は構成比

県支出金 9億6,452万円(9.4%)

社会福祉費県負担金・補助金 3億6,776万円
 児童福祉費県負担金・補助金 3億4,400万円
 農林水産業費県補助金 9,935万円
 商工費県補助金 6,026万円

地方消費税などの交付金 6億1,500万円(5.9%)

国庫支出金 14億7,363万円(14.4%)

障害者介護給付費等国庫補助金 2億4,956万円
 児童手当国庫負担金 3億4,419万円
 子どものための教育・保育給付事業国庫負担金 2億6,690万円
 土木費国庫補助金 4億1,060万円

地方交付税 22億3,000万円(21.8%)

普通交付税 21億1,000万円
 特別交付税 1億2,000万円

一般会計・特別会計の総額と前年度比

会計区分	一般会計	特別会計	特別会計					
			国民健康 保険	簡易水道	公共 下水道事業	漁・農集落 排水事業	介護保険	後期高齢者 医療
予算額	102億 1000万円	75億 9476万円	37億 6740万円	1774万円	9億 4955万円	8174万円	24億 9206万円	2億 8628万円
前年度比	6.4%増	8.1%増	13.9%増	49.2%増	9.4%増	0.2%増	1.0%増	1.8%増



期待される暁谷駅周辺事業

**平成 26 年度 3 月補正予算
地方創生の先行的な取り組みと地域の
消費喚起の促進に臨時交付金**

**15事業に
総額1億4985万円**
 国の緊急経済対策の補正予算成立に伴い、関連する事業を3月補正に計上し、27年度に実施します。
 「地域消費喚起・生活支援型」としてプレミアム商品券の発行や多子・低所得者世帯への商品券の配布、「地方創生先行型」として空き店舗や空き工場の活用対策、定住人口増加に向けた移住者への支援や子育て世帯を応援する取り組みを実施します。

27年度当初予算 主な新規事業

保育所緊急整備

保育環境の充実および耐震化のため保育所（藤原保育園）の改修工事費の一部を補助します。

1億2422万円

子育て支援

子ども・子育て支援事業計画に沿って、子育て支援センターや児童館に対し、一時預かりや延長保育、ショートステイなどの補助を行います。

4074万円

子育て支援スペース

複合施設内で一時預かりや二世世代親子ふれあいサロンを運営。

2882万円

地区公民館耐震

緊急避難所でもある藤原地区公民館の耐震補強工事を行います。

2209万円

国勢調査

27年は国勢調査の年です。人件費や通信運搬費などに係る経費を計上します。

690万円



改修工事を行います（藤原保育園）

任意予防接種

新たに定期予防接種となつた水痘をはじめ、おたふくかぜや成人の風しんに対し予防接種を実施します。

270万円

農業支援

次世代を担う園芸産地整備事業として、真那井トマト生産組合の施設整備に補助金を交付します。（補助率は県3分の1、町6分の1）

3516万円

畜産振興

大分県畜産公社の産地食肉センター老朽化に伴う建て替えに対する負担金。

1378万円

予冷库設置事業

JAべつぶ日出選果場の予冷库を整備。

302万円

道路改良事業

新規に3路線の道路改良を行います。

2200万円

陽谷駅改修

自由通路工事委託と駅前広場やコミュニティ施設工事費を計上し、28年の完成を目指します。

8億1470万円

26年度補正予算 主な新規事業

多子世帯生活支援

18歳未満の子どもが3人以上いる世帯に対して1万円の商品券を支給します。

543万円

プレミアム商品券

元気創出プレミアム商品券支援事業として、購入金額の



商店街に賑わいを

20%を上乘せした商品券を発行します。

4709万円

子育てクーポン

0歳から6歳までの子どもに対し、1人1万円の子育てクーポンを配布。子育て支援サービスを利用してもらい、負担の軽減を図ります。

1030万円

空き店舗対策

空き店舗の改修費と家賃の一部を助成し、商店街の賑わいを取り戻します。

236万円

否決

新設町立図書館関連議案 可否同数で議長裁決

「日出町立図書館の設置及び管理に関する条例の制定について」の議案は、高校跡地に建設中の複合商業施設2階に町立図書館を新設移転するため関係条例を整備するものです。最終日、付託された福祉文教委員会から可決の報告がありました。本会議では、多くの傍聴者や報道機関が見守る中、討論の末、否決となりました。討論の内容と賛成・反対者は以下のとおりです。



現在の萬里図書館

【反対討論】

金元 正生 議員

今定例会に提出された「萬里図書館の名称の存続を求める」陳情提出者は、図書館協議会委員であることからしても協議が不十分であると考えます。代替案とされる旧図書館の活用も説明不足です。今後、議会を含め関係者に十分説明し議論を尽くし、全ての条件が整った後、再提案をすべきと考えます。

【反対討論】

森 昭人 議員

現在の混乱は教育委員会の説明不足、審議不足が招いたことだと考えています。代替案である「帆足萬里記念歴史記念館(仮称)」も陳情署名者に認知されておらず、議会にも十分説明されていないのが現状です。今後行政の立場や代替案の趣旨を広く説明し、理解を深める努力をする必要があると考えます。

【賛成討論】

佐藤 二郎 議員

提出された陳情は、「萬里図書館の名称」を残してほしいということだと捉えています。私も同じ気持ちですが、大規模となる新図書館に名前を残すことが萬里先生を顕彰することになるのか危惧しています。それより萬里先生を中心とする先哲を継承するための設備の整った「歴史資料館」を整備したほうが名前を後世に残せると考えます。

【賛成者】

佐藤 二郎
安部 三郎
工藤 健次
池田 淳子
岩尾 幸六
川西 求一
阿部 真二

【反対者】

佐藤 隆信
白水 昭義
森 昭人
土田 亮治
金元 正生
上野 満
岡山 栄蔵
(議長) 熊谷 健作

賛成・反対同数により議長裁決の結果、否決となりました。今後、再提案され、再度審議することになります。

議会基本条例素案

議会改革特別委員会

「日出町議会基本条例」の素案が完成しました。この条例は、議員の活動原則や議会と町民・行政との関係、政治倫理など第8章からなる議会運営や議員活動の基本事項を定めるものです。今後、詳細を熟議し成案とします。

議員研修(勉強) 会実施

議会改革の一環として2月6日、議員研修会を実施。別府大学教授利光正文氏の「文化財の保護と活用」の講義の後、立命館アジア太平洋大学客員教授で元県副知事の石川公一氏から「議会基本条例の制定に向けて」の講義を受け研鑽を深めました。



年に1回の勉強会

常任委員会

総務産業

議案の審査結果

条例の制定

●職員の自己啓発のための休業
地方公務員法の規定に基づき、職員の自己啓発等休業制度を新設しました。

●交流ひろばHi-CaLi

中心市街地に新しく建設される複合商業施設の2階部分を公の施設「交流ひろばHi-CaLi（ひかり）」と総称して設置します。

※新図書館、多目的室、会議室、子育て支援室などを設置

●日出町小規模給水施設普及支援事業分担金徴収条例

町が施行する事業の費用に充てるための分担金を、利益を受ける給水施設の管理組合から工事費の百分の五を徴収します。

条例の一部改正

●職員給与に関する条例等
人事院勧告に基づき、職員の給料・勤勉手当、特別職の期末手当の支給率を改定し、給料月額を期限を設けて減額します。

●日出町手数料条例

農地法及び鳥獣の保護、狩



多くの町民が集える場となるように

猟の適正化に関する改正に伴い、所要の改正を行います。

●日出町環境保全条例

飼育犬に係る遵守事項を定め、字句の整理をするために所要の改正を行います。

●日出町企業立地促進条例

日出町内への企業立地を促進するため、事業者の指定要件を緩和し、助成金の枠を拡大（優遇措置）するために所要の改正を行います。

ふるさと納税（寄付金）

26年度（1月末）のふるさと寄付金が、105件、705万7千円になりました。

移住者居住支援事業

国が行う地域おこし支援の取り組みに連動し、県と協力して移住の推進、居住補助を行います。

コンビ二収納の開始

27年度4月から、町税等（納付書1枚あたりの金額が

30万円以下のもの）をコンビ二インスタンプでも納付できるようにになります。

閉会中の審査

2月9日開催

豊岡・南端地区メガソーラー
建設予定地の視察

計画されているメガソーラー建設予定地3カ所の現地視察を行いました。計画中の3カ所のうち、2カ所に町有地が含まれていますが、町としてどのように対処していくのかとの質問に対し、地元が建設計画に賛成すれば町有地は貸しだす方向で考えているとの回答がありました。

産業廃棄物処理施設等設置

町内、真那井八代地区に建設計画が出ている県の許認可を必要とする産業廃棄物処理施設の概要について説明がありました。

福祉文教

議案の審査結果

無縁納骨堂

昨年、日岬町無縁納骨堂が建設されたことに伴い、管理運営するための条例を制定します。

保育施設等の利用者負担額

子ども・子育て支援法の施行に伴い、条例を改正して利用者負担額を定めます。1号認定に係る負担額は、国の基準より安くなります。

新図書館の設置条例

新図書館建設移転に伴い、名称、位置、開館時間などが変更となることから関係条例を整備します。

日岬町奨学金

日岬町高等学校の閉校により、条例文の校名を日岬総合高校に変更します。

介護保険

第6期介護保険事業計画の実施にあたり所要の改正を行います。保険料は第5期より若干安くなります。

広域窓口サービス

住民票や印鑑登録証明書などが他の市町村でも請求・取得ができる「おおいた広域窓口サービス」に新たに豊後高田市が加わります。

陳情の審査

「萬里図書館」の

名称の存続を求める陳情書

存続を求める会 多田利浩氏他から陳情が提出されました。

【趣旨】

現在の「日岬町立萬里図書館」は、帆足萬里先生の功績を顕彰し、資料を後世に伝える目的で明治43年に「帆足記念文庫」として創立されました。当時の発起人の思いを考えると、帆足萬里先生の名前を図書館に冠することは、日岬全住民の誇りであり歴史を大切に受け継いできた証だと考え、新図書館にも萬里先生の名称を存続するよう求めるものです。

萬里記念館あるいは歴史資料館として萬里先生の顕彰を

することで、萬里先生の名前を消さないという選択もあるのではないかと、再度審査を行うため継続審査とします。

閉会中の審査

2月4日開催

給食センター視察

教育長と給食センター所長の案内でセンター内の視察を行いました。今後も給食センターの建て替えを強く要望していきます。



手狭な事務所で試食

要望書の審査

尾首山の太陽光発電事業

反対に関する要望書

大神真那井区長 渡辺陽一氏他から要望書が提出されました。

【趣旨】

これまでに当該地区住民に対し事業計画の説明会が行われましたが、住民の不利益・不安の疑問を解決するに至っていません。現在、地区住民を無視した状況のまま事業が進められ、豪雨による農地への冠水や住宅への浸水、土砂災害が危惧されています。住民の要求・疑問を実現・解決する計画再考がされない限り、建設に反対するものです。

【決議】

住民の安心・安全な生活の確保及び自然環境や景観の保護のため、予想外の水量にも対応可能な排水路設置、土砂災害防止のための法面保護等の安全対策に期することを強く要望し、現時点での事業計画には反対するものです。

一般質問

町政を問う



岡山 栄蔵 議員
(川崎地区)

問 新図書館の名称は

答 日出町立図書館の他に
はないのかと思います

問

当初の新図書館建設計画の運営方針では厳しいのではないのでしょうか。課題や今後の取組みは。

生涯学習課長

課題も多々ありません。子どもたちが必要とする資料や情報をどのように充実していくか、またインターネット時代に対応するために、情報の末端やデジタル資料の整備をどのように進めていくかなどの課題が考えられます。

問

新しい図書館の個性づくりを打ち出し、より専門的な課題にも的確に対応できるように専



万里図書館の今後はどうなるの

門の知識を持った人材を確保していく必要があるのでは。

生涯学習課長

現在、専門的な知識を持つ方を募集しており、数名の応募があります。今後面接を

問

しながら、職員の採用に努めていきます。

万里図書館を利用される多くの方から、万里図書館の名称を残してほしいという強い要望を受けています。町長の率直な所見は。

町長

町と教育委員会で新図書館計画をつくり、基本的なタイトルを「日出町の交流・学びの拠点」とし、これまで施設内容について、詳細に提示してきました。やはり、日出町立図書館のほかにはないのかと思います。

コミュニティスクール

問

制度を導入し、町でも年間5回の運営協議会を開催していますが、教育現場の改善点の検証はどのように行いますか。

学校教育課長

学校運営協議会では、学校経営方針の承認、組織の決定、学校関係者評価、来年度の学校経営への要望などが話

問

制度を導入して1年が経過しますが教育長の所見は。

教育長

数年後には学力向上、生活指導、あるいは地域活動の参加などの点で大きな成果になっていると確信しています。このような活動結果から、来年度から町内小学校5校にこの制度を導入することにしていきます。大神中学校を参考にしながら、さらに充実した学校運営協議会になることを大いに期待しています。

質問を終えて

町立万里図書館、開館105年を迎え、開館当時の苦労や思いを大切に。



岩尾 幸六 議員
(川崎地区)

問
画は
今年度の防災訓練計

答
関係機関と協力して
実施します

して、問題解決を図っていた
いただきたいと思ひます。

問
現在60以上の行政区に女性
防災士がいない状況です。女
性防災士の今後の増加計画を
お聞かせください。

総務課長

女性防災士は、町内で15名
が登録されており、防災士全
体の17%で、他市町村と比べ
れば不足しているのが現状で
す。今後3年をめどに各区長
にお願いして各自治区に1名
の女性防災士育成を図ってい
きたいと思ひます。組織また
個人としての活動をあたたか
く見守りながらも強く指導し
ていただきたいと思います。

す。今後も組織で先進地視察
などを実施して防災士のスキ
ルアップを期待するところで
す。

町営住宅の行政対応

問

青津山住宅は築47年と老
朽化が進み、居住者66世帯
109名までに減少し、空家
数は30軒と増加傾向にありま
す。現在の居住者の不安は、
ネズミによる漏電火災です。
町としての対応は。

都市建設課長

住宅は長屋建てで出来てい
るため、ネズミ対策は個人の
対応では大変難しくまた限界
があると思ひますが、区と共
同でネズミ撲滅に取り組んで
いき、漏電などの対応も行っ
ていきます。

問

3月8日の一斉訓練には何
地区が参加する予定ですか。

総務課長

町内47地区が参加予
定です。今回参加でき
ない地域は、沿岸部は
津波避難、山間部は地
滑り訓練、街中では消
火訓練などを各区長と
協議しながら年内開催
に向けて計画します。

問

各地区での避難訓練
の結果は、町としてど
のように評価し判断し
ますか。

総務課長

訓練の評価は各地区
の区長や防災士で話し
合つて、今後の訓練に
活かしていただければ



厳しい防災訓練で災害から守る

問
町として防災士会へのよ
うな事を期待していますか。

総務課長

防災士会は、設立1年程度
です。現在までの活動は防災
士のスキル向上の講習会、
また各種イベントでの広報活
動、各地域における普及啓発
活動などをお願いしていま

質問を終えて

町営住宅に若い世代を呼込
むため、部分改築などを計
画的に進めるべき。



金元 正生 議員
(日出地区)

問 テキサス跡地の利活用の進捗状況は

答 具体的な企業立地を早急に進めていきます

問 全面譲渡から約10カ月が過ぎ、土壌汚染と耐震診断の進捗状況と費用負担は。

商工観光課長

Ｔ－社が実施した観測井戸の水質検査では、汚染物質は検出されず、県は形質変更時要届出区域に指定しました。今後はＴ－社の負担になり、向こう3年間毎年1回水質検査を行います。

財政課長

現時点では、国の構造耐震指針の数値から、工場棟の北棟は、基準値を若干下回る数値になりそうと、少しの補強で済むと想定しております。西・東・南棟は、北棟より更に低い数値になりそうですが、最終報告を待って検討していきます。補強対策工事費

用は、Ｔ－社の負担分もありますが、結果により、町の方でも考えていく必要があるという状況です。

問

企業誘致の活動内容と、現時点での状況、また他のプランは検討していますか。

商工観光課長

県との連携、町のHPや企業訪問等に取り組んでいます。基本的には4つの棟に分割して貸付の誘致活動を行い、現在15社と交渉中で、早急に成約化を図って参りたいと考えており、現時点では誘致一本で進めています。

問

耐震補強工事を含め



テキサス工場跡地の問題は

て、早期に誘致の条件提示が出来なければ、維持管理費用だけが発生し、時間が経過するほど費用がかさむことが予測されますが。

商工観光課長

消防法や建築基準を満たさない部分を早急に解決し、企業立地を促進していきます。地方創生事業でも改装や改造費の一部助成を検討しています。

問

体育館やグラウンドは、企業もPRができ、町収入が見込める、ネーミングライツを検討した方が良いと考えますが。

商工観光課長

今の意見を参考に検討致します。

問

給食センターをテキサス跡地に移転するということでしたが、検討結果は。

教育総務課長

建設計画の検討委員会の結果から、新築と変わらないぐらいの見積り金額でしたので、再度検討いたします。

●その他、城下かれいまつり、ザビエルウォーキング、地区体育祭についての質問がありました。

質問を終えて

P D C A サイクルの手法を活用し、スムーズな施策遂行を。



佐藤 隆信 議員
(大神地区)

問 T-1工場跡地の企業誘致決定は

答 早急に成約できるよう努力します

問 テキサス工場内の具体的な土壌汚染対策は。

商工観光課長 今回の段階では、定めていませんが、早急に成約できるよう努力したいと思えます。

商工観光課長 土壌の入れ替え部分は、約65㎡の土を持ち出して、新しい土と入れ替えているということです。

問 周辺農家の8本のボーリング井戸は、調査をしないのですか。

商工観光課長 今回の時点では、広く周辺まで行わなくてよいのではないかと考えています。

問 テキサス工場跡地の企業誘致の決定はいつ頃まで行いますか。



今後の展開は (T1 跡駐車場)

問 大神と南畑地域の農林漁業

問 人口が減少している地域を中心として、自然観光や空き家対策などを一体化した、住民の代表を加えた推進協議会を設置し、地域づくりをする考えはありますか。

政策推進課長

昨年、日出町創生推進本部を設置いたしました。住民の代表を加えた産・官・学・全・労の連携を強めて、地域総合戦略の検討をしていきたいと思っております。

問 中学校までの医療費無料化の実施を

問 24年の3月議会、25年の6月議会でも無料化について質問し、町長は重要な課題として先進市町村に追いつくよう努力することでした。県内で無料化にしている市町村はどれくらいですか。

福祉対策課長

一部自己負担をしている市

町村を合わせると7市町村です。合併しない4町村のうち3町村は、中学校まで助成をしています。一部自己負担金があります。

問 中学校までの予算は、全体でいくらかかりますか。

福祉対策課長

全額助成(無料化)で2300万円、一部自己負担金で1300万円です。

問 これくらいの予算で出来るのなら、行うべきではありませんか。合併しなかった町村に日出町だけが追いついていないことに町長はどう考えますか。

町長

3町村に比べれば、人口構造状況、子どもの比率などについて大きな違いがあることなどをご理解いただき、まだ踏み切れる状況ではないということです。

質問を終えて

医療費の無料化、合併しない3町村に足並みを。



森 昭人 議員
(日出地区)

問 センター建設、いつたいいつになるのか

答 早急にあらゆる角度から検討します

問

改めてお聞きしますが、現在の給食センターは、昭和43年に建てられ、59年に改築されたものです。耐震基準や学校給食衛生管理基準、大量調理施設衛生管理マニュアルに定める基準はクリアできていますか。

教育総務課長

耐震基準は、昭和56年の建築基準法改正後に建築されたことから、補強が必要な耐震基準の対象ではないと考えています。衛生管理基準は、施設の構造上できない部分もありますが、努力すればできるところはクリアしていると考えています。

問

整備計画検討委員会を立ち上げ、建て替えの答申がされ

たはずですが、どう対応していますか。その後、委員会は活動していますか。

教育総務課長

23年に委員会を立ち上げ検討し、24年の結果をもって教育委員会に報告されていますが、その後、開催していないのが現状です。

教育長

結果は、ある程度内容をもった形で検討されていますが、テキサスの工場跡地に移転という案が浮上し、耐震や費用の問題で断念しました。その後、図書館建設が決まり、財政的に厳しいのかなという判断です。用地取得の必要がないテキサス駐車場に建て替え検討



建て替えが急務な給食センター

すべきという思いで、企業誘致の推移を見守り、内部的に事務上の議論をしています。

問

委員会や一般質問で散々取り上げてきましたが一向に進展がありません。図書館や陽谷駅改修に多額の費用を要するため、財政課がストップをかけているのでは。

財政課長

教育委員会からは、まだ具体的な話は聞いていません。図書館建設などと給食センターは別の次元の話です。財政課としては、財政全体を見な

がら判断させていただきたいと考えています。

問

耐震基準や各衛生管理基準はクリアできていないし、臨海の立地条件も最悪であると考えています。子どもたちの食の安全や災害時の給食支援を考えれば、建設委員会を再開して早急に方向性を出すべきでは。一体いつまで待つのですか。

教育長

これまでの検討結果を踏まえ、町内での検討委員会を立ち上げ、早急に土地取得も言めたところでのあらゆる角度から検討してまいりたいと考えています。

町長

やるべきことはプライマリバランスを崩してでもしっかりやっていくという基本方針を持っていきます。今後とも全体の中で、できるだけきちんとした計画ができるよう努力させていただきます。

●その他、財政、南端小中学校の運営の質問がありました。



工藤 健次議員
(大神地区)

問
第4次総合計画の進捗状況は

答
40項目の調査を実施しています

問
最終年度となりますが、総合的な進捗状況は。

政策推進課長

第4次総合計画は、「人と自然が調和したふれあいと活力あるまちづくり」をテーマに18年度から27年度までの10年間を計画期間としています。目標人口3万人を設定して各種政策を行っているところです。基本計画40項目の調査を26年度に行なっており、27年度に計画ごおりの成果が期待できるよう、各課に当初予算でお願いをしています。

問
今後の課題についてお聞かせ下さい。

政策推進課長

第5次の総合計画書と総合戦略の計画書は、27年度中の

作成になります。国の指示で別々の作成となり、どのように連携して作成できるかが課題と考えています。町の特色ある総合計画と地方総合戦略になると思っています。

農業後継者問題

問

後継者問題をどのように認識していますか、また具体的な対策は。

農林水産課長

非常に厳しい状況にあると認識しています。農林水産課が相談窓口となり、関係機関を集めて相談会を実施し、集落営農を進めるなど、就農者の確保を図っていきます。

問

担い手の確保育成や農業技術の継承は。

農林水産課長

認定農業者への誘導を農協、県の指導機関とタイアップして行っていきます。就農研修については、就農学校などは大変いい制度と想っており、取り組みができるように考えているところです。

パークゴルフ場

問

25年9月議会で陳情を採択した後の経過は。

都市建設課長

昨年パークゴルフ協会の方と、安心院と山香の施設を視察し、生涯スポーツとして広く注目・認知されていることを強く感じました。町にも作るべきと考え、候補地やどの程度の規模で整備が必要か経費などの検討を行って、現在に至っています。

問

候補地や工事開始時期は。

都市建設課長

糸が浜公園の一部分に9ホールのコースを検討中で、27年度中に事業開始を予定しており、夏ぐらいまでにある程度の形をつくりまます。



パークゴルフ場予定地

質問を終えて

政策に、日出町の特色を。



上野 満 議員
(大神地区)

問 プレミアム付き商品券の発行は

答 20%のプレミアム率で発行します

問

国の地域消費喚起・生活支援型交付金を活用し、プレミアム付き商品券の発行を決める自治体が相次いでいますが、日出町はどうですか。

商工観光課長

過去2年間、10%のプレミアム付き商品券を発行しましたが、今回は20%のプレミアム付きで発行します。

問

発行時期は。

商工観光課長

今後、商工会と協議して、なるべく早く発行できるように進めていきます。

問

中学生以下の子どものいる家庭は割引で販売する自治体もありますが、そのような特典はありますか。

福祉対策課長

多子世帯の支援事業で、第3子以上のいる世帯に対して、1万円の商品券を発行したいと思っています。

外国人観光客の誘客

問

ここ数年、県には年間30万人前後の外国人観光客が訪れていますが、町ではどれくらいですか。

商工観光課長

25年は7万8千人で韓国から約4万人、中国、台湾、タイからそれぞれ7千人位です。主な滞在先は別府湾ロイヤルホテル、ビジネスホテルA.Z、ハ



外国人宿泊客が増加しています

ーモニーランドです。

問

誘客のための施策は。

商工観光課長

外国人観光客の誘致の対策ですが、県と連携して商談会や誘致活動に積極的に取り組んでいきます。また英語表記の日出町観光マップの準備作業を行っています。

問

韓国語、中国語表記は。

商工観光課長

27年度以降に準備していきたいと思っています。

問

免税店や大型商業施設の誘致の計画はありますか。

商工観光課長

今のところ具体的なものではありません。

問

2019年にはラグビーのワールドカップも大分で開催が決まり、観光振興にも力を入れる時期と思いますが。

町長

町には外国語が堪能な方が数多くいます。その方たちの協力を得ながら外国人観光客を受け入れる環境をしっかりとつくっていきたいと思います。

●その他、T-1日出工場跡地に関する質問がありました。

質問を終えて

消費喚起の観光振興を。



池田 淳子 議員
(藤原地区)

問 地方創生人材支援制度は活用するののか

答 派遣が可能になれば検討します

問

地方創生に積極的に取り組む市町村に対し、意欲と能力のある国家公務員や大学研究者など、民間人材を首長の補佐役として派遣し、地域に応援してくれる『地方創生人材支援制度』があります。町は応募条件、対象に該当しますか、この制度を活用しますか。

政策推進課長

この派遣制度の希望の締め切りが、地方創生の全体像が明確になる前でしたので、手を挙げていないのが実情です。今後、派遣が可能になれば検討します。

問

定住促進の観点から安心して出産できる環境が必要ですか。

が、現在は町内に産婦人科がないことをどう考えますか。

健康増進課長

平成19年4月から産婦人科診療科目がなく、住民の皆さんは不便を感じていると思います。県内の産婦人科医師の減少や分娩の扱いを休止しているところもあり、産婦人科医、助産師の確保が大きな課題となっています。婦人科は、今年度からサンライズ酒井病院で検診を行うことになり、来年度も引き続き行いますが、診療科目としての開業は今のところ難しいです。

道路空洞化調査

問

道路陥没事故の大半が市町村道ということですが、未然に防ぐために現在どのような

対策がとられていますか。

都市建設課長

3年前に商店街の町道で大きな陥没が発生したこともあり、調査の必要性は痛感しておりますが、現状では、舗装のひび割れや橋梁の長寿命化の調査に重点を置いています。

問

今後の取り組みは。

都市建設課長

現在も行っていきますが、職員によるパトロールの強化、大きな埋設物等がある箇所や、ひび割れが著しい箇所を試掘することで早期発見、復旧対応に心がけたいと思っています。

問

リーダーを積載した車を走行させながら調査をする地中リーダーでの調査は考えていませんか。

都市建設課長

町内の道路33.3kmをその手法ですると膨大な予算がか



パトロールを強化して早期発見を（復旧現場）

かります。国道・県道をするときに合わせて町道の主要幹線も行えればという気持ちは持っています。

質問を終えて

日出町の自立のために使える制度は大いに活用すべき。



阿部 真二 議員
(大神地区)

問 一次産業の活性化対策は

答 農林業の新制度活用
漁場整備を行います

問 農林業の活性化対策および新規農産物加工品の開発は検討していますか。

農林水産課長

新規就農者受け入れ体制整備や希望者の姿勢などを見極めたうえで支援を行います。また、農地中間管理事業や農業経営継承事業などの新制度を活用し、技術面含め活性化につなげていきたいと思えます。農産加工品は新たに銀杏酢、畜産は養鶏場の6次産業化に取り組んでいます。

問 漁業後継者対策および活性化対策は。

農林水産課長

漁業海域の環境整備などを行い豊かな漁場を育て、漁獲量を増やし魅力ある漁業を目

指します。また、獲る漁業から育てる漁業への移行を漁協などと相談しながら取り組み、後継者確保へつなげたいと思います。

問 空き家・空き店舗対策

問

2月26日に空き家対策特別措置法が施行されました。町の空き家バンク活用状況および今後の取り組みは。

政策推進課長

現在4棟の登録があり、うち1棟の契約が成立しています。今後の取り組みとしては、地元の区長に空き家・所有者の調査をお願いするとともに国の制度



以前のように活気を取り戻そう（さざんか通り商店街）

を活用し、登録件数の増加など定住促進につなげていきます。

問

空き店舗状況および対策、また今後の取り組みは。

商工観光課長

さざんか通り商店街に約15軒あります。対策としては26年度に初めて助成金制度を設け、1件の助成が成立しています。27年度は地方創生先行型交付金を活用し、活性化を図りたいと思います。

居住環境インフラ整備

問

町道、生活道路の整備状況および今後の拡充計画は。

都市建設課長

現在、国庫補助事業として主要3路線、生活道路として14路線の拡幅改良を行っています。今後も地域の要望を聴きスピード感を持って対応を行っていきます。

問

上下水道の整備状況および今後の拡充計画は。

上下水道課長

上水道については給水計画人口の98・4%の普及率となっており、今後も水源を担保し、給水区域の拡充につとめます。下水道については認可区域の見直しなど公共下水道排水処理基本構想に準じて拡充につとめます。

質問を終えて

特産品のブランド化を。空き家の町営化検討を。

議員で編集した“手づくり”25年の歩み 議会だより100号

平成2年の創刊以来四半世紀、今回100号を発行するに至りました。今後も町民のみなさんに手にとって読んでもらえる、分かりやすい議会報を目指し、編集委員一同努力していきます。

平成14年から編集委員を務めていますが、これまで最も苦労したのが合併論争の特集記事。駆け出しの議員1期生で合併関連記事を任せられ、合併協議会設置から調印、離脱自立のための行財政改革まで特集記事を書きました。事実を伝えなければという思いで4ページに亘る記事を書いたこともありましたが、今思うと読んでもらえたのか、伝わっていたのかと反省することしきりです。あれから10年、現在ではフルカラーになり、紙面もすっきりしました。今後、紙面構成や表現、タイトルや文字数など意識しながら、



「伝わる広報誌」への取り組み

議会報編集委員長 森 昭人

丁寧な「伝わる広報誌」を目指して、限られた時間や経費の中で「議員の手づくり」にこだわりながら、進化していければと思います。



平均年齢 49 歳、毎号一生懸命（編集委員会）



平成2年8月 No.1



平成3年8月 No.5



平成4年11月 No.10



平成6年2月 No.15



議会改革を進めています（100号記念ならでの集合写真）

◎南端中3年 小野 直美さん



平成11年2月 No.30

◎豊岡小6年 莊田 竜斗さん



平成12年4月 No.40

◎南端中3年 小野さゆりさん



平成13年8月 No.45

◎大神小6年 小石 真司さん



平成14年8月 No.50

◎豊岡小5年 本田 創一さん



平成16年8月 No.55

これからも議会の情報発信の窓口として



日出町議会議長 熊谷 健作

議会だよりは平成2年の創刊時から20年までは4名の委員による編集でした。その後、現在の6名体制となりましたが、一貫しているのは、議員自らが編集、校正、写真撮影等を行っていることです。公正、正確、誠実を編集方針に掲げ、また近年では町民の皆様に少しでもわかりやすく、親しみの持てる紙面作りを目標に頑張ってもらっているところです。

私も、初当選から何期か編集委員会に所属しましたが、読みやすい文章づくりや用語

の使い方、誤字脱字のチェックに苦労しました。またこの委員会は、一度所属すると何度もう再任されることが多く、個人の向き不向きに関わる作業であるのかもしれない。

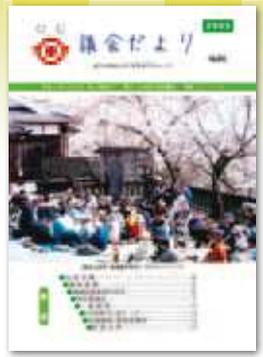
委員の皆さんには、全国町村議長会主催の研修会で専門家の先生によるレクチャーを受け、その教えを実践するべくレイアウトや写真の撮り方等に熱心に取り組んで頂いております。しかしながら、町民の方々に多くの情報をお伝えしたいという想いと、字数をできるだけ少なくした

いという葛藤に悩まれていることと思います。言うまでもなく、いくらネットが発達しても、町報と並んで紙媒体の情報誌は情報伝達的手段として未だに非常に有効であります。現在、取り組んでいる議会改革の一環としても益々必要性が増していくことでしょう。

今後、他の市町村の議会報に負けないような、そしてより多くの町民の方が手に取っていただけるような紙面作り邁進されることを強く希望しています。

日出町のあゆみ

- 平成2年 別府湾ロイヤルホテルオープン
- 平成3年 糸ヶ浜海浜公園供用開始
- 平成4年 ハーモニードオーブン
- 平成5年 大分空港道路開通
- 平成6年 宇佐別府道路(遠見)院内間開通
- 平成7年 遠見地区広域農道開通
- 平成7年 役場庁舎増改築工事完成
- 平成7年 日出JCT開通
- 平成7年 ニホンタ太陽株日出工場、(ホンダR&D太陽株)日出工場操業開始
- 平成8年 6代町長に本田維憲氏が就任
- 平成9年 農業集落排水処理施設
- 平成9年 日出陽谷高校を大神地区に新築移転
- 平成10年 村築速見環境浄化組合
- 平成12年 し尿処理施設完成
- 平成13年 城下かれい中間育成施設完成
- 平成13年 日出町保健福祉センター完成
- 平成14年 日出ハイパス全面開通
- 平成16年 日出土地区画整理事業完了
- 平成16年 合併協議会調印式
- 平成17年 7代町長に工藤義見氏が就任
- 平成17年 日出町が合併協議会を離脱
- 平成17年 第1次行財政改革スタート
- 平成18年 第1回サヒエルの道
- ウオーキング大会開催



◎南端小6年 小野菜々美さん

平成17年4月 No.60



◎日出小2年 阿部 侑哉さん

平成18年8月 No.65



◎日出中3年 伊南 利菜さん

平成19年11月 No.70



◎藤原小6年 古屋 真澄さん

平成21年1月 No.75



議会だより記念号の発刊に寄せて

日出町長 工藤 義見

「議会だより」が創刊から100号を迎えられ、これまでに紙面を通して果たされた重要な役割に深く敬意を表します。また、歴代の議員各位、そして編集の任に当たられた委員の皆様が多大なご尽力に感謝します。

開発などもあつて、日出町は近年、国東半島周辺地域の主要な町として発展してきています。しかし、この25年の経過のうち、日出町も人口増加から減少の時代に変化しようとしております。少子高齢化のなかで、成長する力を取り戻すためにも、新たに「地方創生」に取り組み、「まち、ひと、しごと」の観点から地域再生を図ることが喫緊の課題となつてきています。

町民皆様の行政、議会に対する期待は大変高く、両者が相互に切磋琢磨し、一方で車の両輪となつて地域の発展に尽力しなければなりません。本議会だより記念号発刊を契機として、紙面の充実と更なる情報公開に努められ、町民皆様との架け橋としての期待に答えられるよう祈念し、お祝いの言葉といたします。

創刊当時は、国のふるさと創生事業によって自治体が地域づくりに着手した頃であり、日出町においても、佐尾地区の土地区画整理事業を初め、各種事業が展開されました。最近では、中心市街地の

今こそ地域力を高め、地域

す。



◎大神中3年 佐藤 智美さん

平成22年5月 No.80



◎川崎小6年 友永 朱莉さん

平成23年7月 No.85



◎南端中3年 三浦 真愛さん

平成24年11月 No.90



◎大神小6年 江藤 瑞紗さん

平成26年1月 No.95

- 平成19年 一故二階堂運氏が 日出町名誉町民第一号に選定 立命館アジア太平洋大学と 相互協力協定を締結
- 平成20年 大分大学と相互協力協定を締結 第63回国民体育大会開催 (なぎなた、ビリヤード会場を担当) 平成21年 町指定文化財(的山荘)を町有化 二ホテルソラージュ大分・日出
- 平成22年 川崎運動公園が利用開始 二の丸跡完成 二の丸跡完成 別府大学と相互協力協定を締結 町立萬里図書館 創立100周年記念式典開催
- 平成23年 総合型地域スポーツクラブ ひまわりのたね設立総会 二シルバー人材センター設立 陽谷駅北側に ケーステンキ日出店が outlet
- 平成24年 二亀の井ホテル大分日出店 オープン 宮城県亘理町との交流が始まる 二ミニニティバス運行開始
- 平成25年 日出陽谷高校と山香農業高校が 統合し日出総合高校が新設 国東半島半島半島地区が 世界農業遺産に認定 日本テキサス・インスティテュート 別府湾岸・国東半島海への道が 日本風景街道に認定 町立豊岡小学校の新築工事が完成
- 平成26年 町制施行60周年を迎える 二的山荘が国の重要文化財に 指定される 国道10号日出地区 4車線化工事完了

※No.33より表紙議会だよりの題字を町内の小・中学生にお願いしました。

町民の 声

『鹿鳴越連山は すばらしい山々』



川崎成行区
堀 玲子

2月7日～3月8日の町内雛祭り、私の所属している茶道ボランティアグループ陽谷会も、深見記念館で毎日曜日と3月3日に茶席を設けました。私は3月8日を担当しましたが、遠方からのお客様さんも多く情報の大切さを痛感しました。

また友人・知人を誘って、毎日曜日茶席で一服戴いてから町内の雛会場を訪ね歩きました。的山荘をはじめ、お寺の歴史の詰まった展示やお接待・年数を重ねた手作り作品、美術館や工房・ハーブの香るおいしい食事など日出町の文化展が充実してきている様子を感じました。

今年、陽谷駅周辺の整備が進み、萬里図書館の移転もされて文化面の更なる充実が期待できそうです。楽しみにしています。

また私は登山を始め、20年程。ここ数年は町内の仲間と週1回、七ツ石山に登っています。往復2時間、季節の変化を楽しんでいます。時に台風や雪で木が倒れて通れなかったり、登山道が濁流と化すこともあり、ノコなどで整備することも多いです。

ザビエルウォークの道は時々整備され

ますが、東鹿鳴越の殿様道は石畳もはがれ、草が生茂って歩くのに難儀することがあります。津久見では、元越山をメインに空の公園までを整備、天空ロードと名付けて多くの登山者を集めています。

交通の利便性や景色の良さにおいて、鹿鳴越はすばらしい山です。石鎚神社脇から城岩・城山・百合野山・板川山・七ツ石山・経塚山の縦走コースは史跡も多く、別府湾の眺めに加えて七ツ石山北面の松林が伐採され、八面山や宇佐の山々も見通せる展望があります。体力・技術に応じてコースも多様にとれます。町内の海岸線は整備が進んできました。

今後は是非山の方の整備を進めて、登山やトレッキング愛好者を町内に呼び込みたいと切望します。



議会を 傍聴してみませんか

今、町ではどんなことが議論されているのだろうか。また、どんな計画があつて、どう進んでいるのだろうか。あなたの身近なこともありません。

簡単な手続で、だれでも傍聴ができますので、是非おいでください。

6月定例議会の予定

- 5月29日 議会運営委員会
- 6月5日 本会議(初日)
議会運営委員会
- 8日 本会議(議案質疑・一般質問)
- 9日 本会議(一般質問)
- 10日・11日 常任委員会(予算)
- 12日・15日 常任委員会(所管)
- 16日 常任委員会(予算)
議会改革特別委員会
- 17日 全員協議会
議会報編集特別委員会
議会運営委員会
- 19日 本会議(最終日)

編集後記



今回の「議会だより」はいかがでしたか。この「議会だより」は議員が編集した手作りの議会広報誌です。新人議員3名を含む6名で構成された議会報編集特別委員会で議会定例会ごとに作成しており、我々新人議員として今号で5度目の編集となりました。また今回は記念すべき100号を発行するにあたり、25年間の重みや、時間、時代の変遷を感じながら、できるだけ多くの皆様に読んでいただけるようにいつも以上に気合を入れて編集しました。今後も先輩議員の「議会だより」に込めてきた熱き想いを受け継ぎ、冷ますことなく進化を続け皆様に読まれ愛される「議会だより」作成を行いますので宜しくお願い致します。

(阿部 真二)

- 編集委員長 森 昭人
- 副委員長 土田 亮治
- 委員 池田 淳子
- 委員 上野 満
- 委員 阿部 真二
- 委員 岡山 栄蔵